



報道関係各位

## ☆☆緊急シンポジウム開催☆☆

# 「福島原発事故 ～ “誰にでもわかる” 現状と今後 ～」

日時：4月5日（火）14時～16時 場所：日本財団ビル2階（東京都港区）

日本財団では、東電福島第1原発事故を受け、これまでチェルノブイリの被曝者医療などに20年間携わり、今回、福島県の放射線健康リスク管理アドバイザーにも任命された長崎大・山下俊一教授ら放射線医学の第一線で活躍する専門家3人による緊急シンポジウムを下記の通り開催します。

放射性物質の飛散状況を示す詳細なデータの不足や政府発表のぶれ、さらに放射線に対する誤った知識や偏見などもあって国民は混乱し、誤ったメッセージが海外にまで広がっています。本シンポジウムでは、チェルノブイリ原発事故や東海村臨界事故などの経験を踏まえ福島第1原発の現状と今後についての講演を行います。

シンポジウムにご参加いただける場合は、準備の都合上、別紙に必要事項を記入の上、ご返信いただきたく、よろしくお願い致します。

### 記

1. 日時：2011年4月5日（火）14時～16時
2. 場所：日本財団ビル2階（東京都港区赤坂1-2-2）
3. 主催：日本財団
4. 共催：（財）笹川記念保健協力財団、（公財）東京財団、（特）BHNテレコム支援協議会、  
（特）先進医療フォーラム（順不同）

### 5. プログラム：

- 14:00 開会挨拶
- 14:05 「チェルノブイリの経験から」 ～福島はこれからどうなるのか？～  
山下俊一（長崎大学大学院教授）
- 14:25 「放射能に関する常識・非常識」  
前川和彦（東京大学名誉教授）
- 14:45 「日本人の放射線観から」 ～情報の伝え方・受け止め方～  
神田玲子（放射線医学総合研究所放射線防護研究センター上席研究員）
- 15:05 質疑応答

※シンポジウムの模様はUSTREAMでライブ配信します。

日本財団HP (<http://www.nippon-foundation.or.jp/>) よりご覧いただけます。

6. 問い合わせ：日本財団 担当 依田・浅倉 TEL. 03-6229-5163

### 《このリリースに関するお問い合わせ》

日本財団 情報グループ 広報チーム 小澤直、富永夏子、宇田川貴康  
〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル  
TEL.03-6229-5131/FAX.03-6229-5130 E-mail:pr@ps.nippon-foundation.or.jp  
URL:<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

日本財団は、ポートルースの売上を財源に公益活動を推進しています。

以上